科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
世界史B	4	3年1類A・C型		選択
授業担当者	授業担当者		教材等	
		高校世界史B	最新世界史図説タペストリー	
111111111		(山川出版社)	(帝	国書院)

- ・世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本史等と関連付けながら理解する。
- ・世界史の学習を通して文化の多様性・複合性について理解を深め、現代世界を広い視野から考察する態度 を身につける。

評価の観点と方法について

中間・期末考査の点数を基準として、授業ノートや長期休暇課題等の提出状況を考慮した平常点を加味し、 総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	第6章 内陸アジア世界・東ア ジア世界の展開	中国史を中心に、アジア諸民族との関わり興亡について理解する。	・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国	
	5	第7章 アジア諸地域の繁栄	東アジアにおける大国の繁栄と、ヨ ーロッパ諸国との関わりを理解す る。	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・インド・東南アジア世界の展開	ノート提出 中間考査
一学期	6	第8章 近世ヨーロッパ世界 の形成	大航海時代による世界の一体化とヨ ーロッパ近代国家形成についてその 影響・特徴を理解する	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制の形成 ・絶対王政 ・重商主義と啓蒙専制主義、 ・ヨーロッパの海外進出	
	7	第9章 近世ヨーロッパ世界 の展開	重商主義と啓蒙専制主義、市民革命 ヨーロッパの海外進出等について理 解する		ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	第10章 近世ヨーロッパ・アメ リカ世界の成立	産業革命などによってどう社会が変わったかを理解する ナポレオンの全盛、失脚について理解する	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・19t世紀欧米の文化	夏季課題提出
<u>-</u>	10	第11章 欧米における近代国 民国家の発展	ウィーン体制の仕組み、アメリカ合 衆国の発展等について理解する。	・ウィーン体制の成立・ヨーロッパの再編・南北アメリカの発展・19セ世紀欧米の文化	ノート提出 中間考査
学 期	11	第12章 アジア諸地域の動揺	アジア諸地域の変容、植民地化等について理解する	・西アジアの変容・南アジア・東南アジアの植民地化・東アジアの激動	
	12	第13章 帝国主義とアジアの 民族運動	帝国主義の成立と世界分割の 進展を理解する	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	ノート提出 期末考査
		第14章 二つの世界大戦	第一次世界大戦の経過とその 後の変化を理解する	・第一次世界大戦とロシア革命	
三学期	1		世界恐慌における各国の政策 とファシズム体制の仕組みを 理解する 第二次世界大戦の経過につい て理解し、戦争とは何か考える	・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	ノート提出 学年末考査

その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

1年次世界史学習の続きから授業を行います。

今日の国際社会において、自国の歴史と同時に、他国の歴史や文化への理解は欠かせないものとなっております。また、人間の営みとして、今日に至るまでの試行錯誤を当事者のように理解してほしいと思います。一年間ともに頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史B	4	3年1類A・C型		選択
授業担当者		教科書名	副	教材等
111111111		日本史 B (山川出版社)	プリ	リント等

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項(近世~近代・現代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年5回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	近世			
		幕藩体制の動揺	江戸幕府の成立過程を理解す	幕政の安定	授業中の関心・意
		・ 幕政の改革	る	経済の発展	欲・態度
		・江戸幕府の衰退		元禄文化	
		・化政文化			
			江戸幕府の支配が揺らいでい	幕政の改革	
	_	> - P 5 P 5 6	く経緯を理解する	幕藩体制の動揺と外圧	
	5	近代・現代		幕藩体制の動揺と政治改革	
		近代国家の成立	江戸時代後期の政治・経済・	新しい学問の形成と化政文化	, 1 1 1 1
		・開国と幕府の滅	文化について理解する		ノート提出
		亡	ペリーの来航と日本開国の経	 ペリー来航と日本の開国	中間考査
			緯を理解する	開国による社会の変化	
			幕末の攘夷運動と幕府や新政	幕府の動揺	
学			府の動きを理解する	幕府の滅亡	
期	6		714 1 274 2 3 2241 7 3	統一国家の形成へ	
		・明治維新			
			明治政府の発足による社会の	新政府の発足	
			変化と国際情勢について理解	近代国家を目指して	
			する	殖産興業と文明開化	
				明治初期の対外関係	
	7			新政府への反抗	ノート提出
		・立憲国家の成立	- 古上中於田和	h 1 0 1 mars	期末考査
			自由民権思想と、それに対しての政府対応について理解す	自由民権運動	
			ての政府対応について理解する	専制政治への批判憲法の制定	
			<i>√</i>	憲法の制定 立憲政治の成立	
				业/密收1日V <i>小以业</i>	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	近代・現代 近代国家の成立 ・大陸政策の展開	日清・日露戦争に至った経緯とその影響について理解する	条約改正 朝鮮をめぐる対立 日清戦争と東アジアの変容	授業中の関心・意 欲・態度
	10	・近代産業の発展 ・近代の文化	民衆の生活の実態、明治期の 文化について理解する	中国分割と日露戦争 日露戦争後の国際関係 工業化と資本主義の発達 社会運動の発生 新しい文化の形成	
二学期		二つの世界とアジア ・第一次世界大戦 と日本 ・政党政治と大衆	第一次世界大戦が諸外国と日本に与えた影響を理解する 大衆文化の実態を理解する	大正政変 第一次世界大戦と日本 第一次世界大戦後の国際情勢 第一次世界大戦の影響 大衆社会の形成	ノート提出 中間考査
· <i>为</i> 1	11	文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	世界の経済状況 昭和初期の内政と外交 日中戦争開戦の経緯について	世界恐慌 揺れ動く経済と中国侵略の本格化 日中戦争と国内体制の改変	
	12		理解する 第二次世界大戦、アジア太平 洋戦争開戦の経緯、戦争の経 過と社会への影響について理 解する	第二次世界大戦前の国際情勢 軍部の台頭 第二次世界大戦 アジア太平洋戦争 戦時下での国民の生活 敗戦	ノート提出 期末考査
	1	近代・現代 現代の世界と日本	戦後の国内・国際社会につい	戦後の国際秩序	授業中の関心・意
三学期	2	・占領下の改革と主権の回復		戦後の国際秩序 日本の民主化 占領下の政治 冷戦と日本の独立	技業中の関心・息 欲・態度 ノート提出 学年末考査

その他 (履修上の留意点・大学進学等のための学習など)

- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をします。
- ・日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史B	2	3年1類B型		選択
授業担当者		教科書名	副	教材等
111111111		高校日本史B (山川出版社)		説日本史図録 プリント等

- ① 日本史の基本的事項(中世~近代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年3回の定期考査の点数を基本として、授業プリント、長期休暇課題等の提出状況等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	幕藩体制の成立			
		• 織豊政権	織田信長、豊臣秀吉の登場に	大航海時代の余波	
			よる時代の変化を理解する	織田信長の天下布武	
				豊臣秀吉の全国統一と対外政策	
				桃山文化	
		・江戸幕府の成立	江戸幕府が成立する経緯と、徳	江戸幕府の成立	
			川家康、秀忠、家光の権力掌握	幕府と藩の支配体制	
	5		の経緯、幕藩体制のしくみを理	年貢と身分制	
		・江戸初期の外交と	解する	禁教と貿易統制	
		文化		寛永期の文化	
_		幕藩体制の展開	江戸幕府の支配が確固たるも		
学		・幕政の安定	のになる経緯を理解すると共		
期		・経済の発展	に、民衆史を認識する	経済の発展	
//,	6	・元禄文化		町人文化と学問の発達	
				元禄文化	
		幕藩体制の動揺	幕藩体制のひずみと弱体化の		
		・幕政の改革	過程・外圧、そして文化につい		
			て学習する	田沼時代	
				宝暦・天明期の文化と思想	
		・江戸幕府の衰退		寛政・天保の改革と鎖国の動揺	授業プリント提出
	7	・化政文化		化政文化と学問・思想	tim to the to
					期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	近代国家の成立	開国による幕府の動揺と国内	開国の影響と尊皇攘夷の動き	夏季課題の提出
		・開国と幕府の滅亡	外の動きについて学習する	幕府の滅亡	
		•明治維新	新政府の動きについて学習す	明治維新	
			る	殖産興業と文明開化	
				明治初期の国際情勢	
	10	・立憲国家の成立	近代国家の形成への道のりと	自由民権運動	
			明治の外交政策から学習する	立憲政治の成立	
				初期議会	
		・大陸政策の展開		条約改正	
				日清戦争	
学				日露戦争とその後の国際関係	
期		・ 近代産業の発展		産業革命	
				社会運動の発生	
	11	・近代の文化	be at the 1 Wheeling of the 1	明治の文化と学問・思想	
			第一次世界大戦開戦の経緯と		
		とアジア	その影響について理解する	## VL III. FB	
		・第一次世界大戦と		第一次世界大戦	
		日本		大戦景気と米騒動	
		. 正安学证与汉人 1. 十二年二十二		ワシントン体制 戦後恐慌と関東大震災	授業プリント提出
	12	・政党政治と大衆文化		教養恐怖と関東人長人 社会運動の高揚と大衆文化	1文未ノリン「1定山
	14	16		江云連邦の同物と八水文化	期末考査
	1	・恐慌の時代		恐慌と内外政策の転換	授業プリント提出
					学年末考査
三					
学 期					
期					
Ī					

その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

- ・3年次では、主に近世~近代の学習を行う。
- ・軍部の台頭以降の日本史については授業の中で十分に取り扱うことができないので、大学受験に対応する ために各自計画的に学習を進めるよう指導する。
- ・語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れや影響、現在の自分たちとも関連づけて考えさせる。

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
地理B	2	3年 1類 B型		選択
授業担当者		教科書名		副教材等
111111111		新編詳解地理B(二宮書店)	詳解現代	地図(二宮書店)

科目の到達目標
地理的なものの見方、思考力を身につける。また世界の文化・産業等を通して地域的特色を学ぶ。
そして、私たちの生きる現代日本と世界を多面的に比較して、国際社会を生きる人間としての自覚を養う。

年3回の考査の点数を基準とする。またノートや夏季課題等の提出状況などを考慮して総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	流通と消費	貿易・観光の現状から現代 社会の課題について考え る	世界と日本の貿易 商業環境の変化 観光産業の発展	
一一一一一一一	5	第3章 人口と村落・都市	現在の人口・都市問題から 将来の社会問題を予測す る	世界の人口分布と人口増加 世界と日本の人口問題 村落の成り立ちと機能 都市の発達と形態 都市の拡大と都市圏 世界と日本の都市・居住問題	
- 期	6	第4章 生活文化と 民族・宗教	世界の衣・食・住の特徴を 知るとともに、民族や領土 をめぐる争いについて理 解する	世界の衣・食・住 世界の言語と宗教 国家の形成と領域 民族問題と領土問題 国家間の結びつきと国際連合の役割	ノートの提出
	7				期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	第Ⅲ編 現代社会の	世界の各地の地誌を、最近 の状況と国際関係を重視	東アジア	
		地誌的考察	して理解する。	東南アジア	
				南アジア	
	10			西・中央アジア	
				アフリカ	
二学				ヨーロッパ	
期				ロシア	
	11			アングロアメリカ	
				ニニンマンロム	
				ラテンアメリカ	
	10				ノートの提出
	12			オセアニア	期末考査
	1	実践問題演習	入試過去問題等の演習と 既習内容の	入試過去問題等の演習やプリント等に より、既習内容の復習とセンター入試	
			復習	対策を行う	
三					
三学期					
791					
					期末考査

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

入試対策として、統計資料集・過去問などのプリント教材等を補助教材として使用する。 必要に応じて、時事的内容も紹介する。

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史 A	2	3年2類	文型	選択
授業担当者		教科書名		教材等
111111111		高校日本史B	詳説日本史図録第8版(山川出版社)、	
111111111		(山川出版社)	プリント教材等	

まず戦後史を学習したあと、大学入学共通テスト対策および私大入試対策として、実践問題の演習と解説を行う。

評価の観点と方法について

定期考査を評価の基本とし、ノートや夏季課題の提出状況・内容などを平常点として加味して総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	第11章 現代の世界と 日本	戦後の日本の移り変わり について、世界との関係に 留意して理解する。	・占領と国内改革	
	5			・国際社会への復帰と高度経 済成長	
一学期				・石油ショックと低成長の時代	
	6			・新しい国際秩序と日本の課 題	ノート提出
	7				期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	実践問題演習・解 説	入試過去問・実践問題の演習を通じて、復習を行い、 入試問題に対応できる力をつける。	・プリント教材による、 入試過去問・実践問題の演習 および解説。必要に応じて重 要項目の復習等も行う。	夏季課題提出
二学期	11				ノート 提 出
	12				期末考査
三学期	1	実践問題演習・解説	入試過去問・実践問題の演習を通じて、復習を行い、 入試問題に対応できる力をつける。	・プリント教材による、 入試過去問・実践問題の演習 および解説。必要に応じて重 要項目の復習等も行う。	

その他 (履修上の留意点 大学進学のための学習など)	
実践問題はできるだけ家庭で演習するようにし、授業では解説を中心に行う。	

科目名	単位数	指導学年・類・型 必修・選択		
日本史B	3	3年2類文型 必修		必修
授業担当者	Ý.	教科 書 名 副教材等		教材等
111111111		高校日本史 B (山川出版社)	. ,	説日本史図録 交日本史ノート

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項(近代~現代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多面的・多角的に学ぶ。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年4回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	近代国家の成立			
		・開国と幕府の滅亡	開国の影響と幕府滅亡に至る経	開国と幕府の動揺	
			緯について、外国との関係ととも	尊皇攘夷運動と倒幕	
			に理解する		
		• 明治維新	明治政府の発足による社会の変	中央集権体制の確立	
	5		化と国際情勢について理解する	明治新政府の政策	
				文明開化	
		・立憲国家の成立		自由民権運動と立憲体制の確立	ノート提出
		・大陸政策の展開	日清戦争・日露戦争の経緯と戦後	条約改正	
			の影響について理解する	日清戦争	中間考査
				日露戦争	
		・近代産業の発展	産業の発展に伴う社会変化につ	産業革命 社会運動	
_	6	・近代の文化	いて理解する	近代産業の発展と社会問題	
学			明治時代の文化・学問・思想につ	明治時代の学問・思想・文化	
期			いて理解する		
拗		二つの世界大戦			
		とアジア			
		・第一次世界大戦と	第一次世界大戦開戦の経緯とそ	第一次世界大戦前の日本の政治	
		日本	の影響について理解する	第一次世界大戦後の国際情勢	
				第一次世界大戦の影響	
		・政党政治と大衆文		政党政治の展開	
		化		大正デモクラシー	ノート提出
	7			文化の大衆化	
					期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	・恐慌の時代	恐慌と内外政策の経緯について	昭和初期の国内政治	夏季課題提出
			理解する	昭和初期の外交政策	
				第二次政界大戦前の国際情勢	
		・軍部の台頭	軍部の台頭による満州事変・政党	軍部の台頭	ノート提出
			政治の崩壊について理解する		
		・第二次世界大戦	日中戦争とアジア太平洋戦争開	日中戦争	t and to t
			戦の経緯、戦争の経過と社会への	2 1 -2000 6	中間考査
	10		影響について理解する	アジア太平洋戦争	
				戦時下の国民生活と社会のようす	
		現仏の黒田し口		敗戦	
		現代の世界と日			
		本 ・占領下の改革と主	戦後の国内・国際社会について理	戦後の国際情勢	
学	11	権の回復	解する	日本の民主化	
期	11	作のプログ	戦後の政治・世界情勢の流れを理	占領下の政治	
			解する(必要に応じてプリントを	戦後の経済再建	
			使用する)	戦後の人々の暮らし	
				冷戦と日本の独立	
		・55 年体制と高度		55 年体制の成立	
		経済成長		高度経済成長	ノート提出
		・現代の情勢			
		演習		大学入学共通テストを見据えた演習を	
				行う	
	12				
					期末考査
Ī		大学入学共通テス			
		卜直前対策			
三					
三学					
期					
Ī					
Ī					
Ī					
Ī					

その他(履修上の留意点・大学進学等のための学習など)

- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や進度を工夫する。(必要に応じてプリント教材なども使用)
- ・大学入学共通テスト対策の実践問題演習も行う。

科目名	単位数	指導学年・類・型 必修・選択			
地理B	3	3年 2類 理型	選択		
授業担当者		教科 書 名 副教材等		教材等	
111111111		新編詳解地理B(二宮書店)	地理統計要覧(二宮書店)、		
1111111111		詳解現代地図(二宮書店)	資料地理の研究(帝	国書院)	

私	日	の到	幸	日	煙
71-1		Vノマ	┅		1 जर

早めに教科書内容の学習を終え、その後は実践問題演習を中心に既習範囲の復習を行い、大学入学共通テス ト対策を行う。

特に地形図の読図、統計・資料の読み取りに慣れさせる。

評価の観点と方法について
年間4回の考査(1学期中間・期末、2学期中間・期末)の点数を基準とする。
また、ノートや夏季課題の提出等も評価の対象とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4 5	第3章 人口と村落・都市	現在の人口・都市問題 から将来の社会問題 を予測する		
167		第4章 生活文化と 民族・宗教	世界の衣・食・住の特 徴を知るとともに、民 族や領土をめぐる争 いについて理解する	世界の名・食・仕 世界の言語と宗教	ノートの提出 中間考査
期	6	第Ⅲ編 現代社会の 地誌的考察	世界の各地の地誌を、最近の状況と国際関係を重視して理解する。	東アジア 東南アジア 南アジア・西・中央アジア アフリカ・ヨーロッパ・ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ・オセアニア	
	7				ノートの提出 期末考査
	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント

	9	実践問題演習	入試過去問題等の演	入試過去問題等の演習やプリント等により、	夏季課題の提出
			習と既習内容の	既習内容の復習とセンター入試対策を行う。	
			復習		
			<mark> </mark>		
	10				ノートの提出
					中間考査
					1 11.7 2 22
二学					
期					
炒					
	11				
					ノートの提出
	12				期末考査
					\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
	1	大学入学共通テ			
_		スト直前対策			
三学					
期					

その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

入試対策として、過去問・模試などのプリント教材等を補助教材として使用する。 必要に応じて、時事的内容も紹介する。

科目名	単位数	指導学年•類•型		必修・選択
日本史B	3	3年3類		選択
授業担当者	Í	教科書名	副	教材等
111111111		日本史 B (山川出版社)	プリ	リント等

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項(近世~近代・現代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年5回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	近世 ・幕藩体制の成立 ・幕藩体制の展開	江戸幕府の外交政策を理解する 江戸幕府の支配が確固たるも のになる経緯を理解する	禁教と貿易統制	授業中の関心・意 欲・態度
一学期	5	幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・江戸幕府の衰退 ・化政文化	江戸時代中期における政治・ 経済・文化を理解する 江戸幕府の支配が揺らいでい く経緯を理解する 江戸時代後期の政治・経済・ 文化について理解する	幕政の改革 幕藩体制の動揺と外圧 幕藩体制の動揺と政治改革 新しい学問の形成と化政文化	ノート提出 中間考査
	7	近代・現代 近代国家の成立 ・開国と幕府の滅 亡	ペリーの来航と日本開国の経緯を理解する 幕末の攘夷運動と幕府や新政府の動きを理解する	ペリー来航と日本の開国 開国による社会の変化 幕府の動揺 幕府の滅亡 統一国家の形成へ	ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	• 明治維新	明治政府の発足による社会の 変化と国際情勢について理解 する	新政府の発足 近代国家を目指して 殖産興業と文明開化	授業中の関心・意 欲・態度
		・立憲国家の成立	自由民権思想と、それに対しての政府対応について理解する	明治初期の対外関係 新政府への反抗 自由民権運動 専制政治への批判 憲法の制定	
	10	近代・現代 近代国家の成立 ・大陸政策の展開	日清・日露戦争に至った経緯	立憲政治の成立条約改正	
1		八巴火水。八尺四	とその影響について理解する	朝鮮をめぐる対立 日清戦争と東アジアの変容 中国分割と日露戦争 日露戦争後の国際関係	ノート提出 中間考査
学期	11	・近代産業の発展・近代の文化	民衆の生活の実態、明治期の 文化について理解する	工業化と資本主義の発達 社会運動の発生 新しい文化の形成	
	12	二つの世界とアジア ・第一次世界大戦 と日本	第一次世界大戦が諸外国と日本に与えた影響を理解する	大正政変 第一次世界大戦と日本 第一次世界大戦後の国際情勢 第一次世界大戦の影響	
		・政党政治と大衆 文化 ・恐慌の時代	大衆文化の実態を理解する世界の経済状況	大衆社会の形成世界恐慌	ノート提出 期末考査
		SEMPLE S d I d	昭和初期の内政と外交 日中戦争開戦の経緯について 理解する	揺れ動く経済と中国侵略の本格化 日中戦争と国内体制の改変	
三学期	1	・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	第二次世界大戦、アジア太平 洋戦争開戦の経緯、戦争の経 過と社会への影響について理 解する	第二次世界大戦前の国際情勢 軍部の台頭 第二次世界大戦 アジア太平洋戦争 戦時下での国民の生活	授業中の関心・意 欲・態度 ノート提出
				敗戦	学年末考査

その他(履修上の留意点・大学進学等のための学習など)

- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をします。
- ・日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
地理	3 単位	3年•3類		選択
授業担当者	Á	教科書名	副	教材等
111111111	1	詳解地理B	詳解現代地図(二宮書店)	
		(二宮書店)	随時プリン	ノトを用意

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

評価の観点と方法について

各単元目標が理解できているかどうかを中心に定期考査を実施し、必要に応じて課題を出して提出させる。 評価については、定期考査に加えて、授業中の発問や作業への取り組み方などから態度・興味・関心・意欲・ 集中力を評価として加え、総合的に判断する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	○資源と産業	農業地域の形成条件 を理解し、世界各地で おこなわれる農業の 形態や特徴を理解す る。 世界情勢と農業が密	資源・エネルギー 工業	授業中の関心・ 意欲・態度
	5		接に関わっていることを理解する。		中間考査
一学期	6	人口と村落・都市	世界の人口分布を理解する。人口が増加している地域と減少している地域、それぞれが抱える問題を学び、解決策を考える。		
	7	○生活文化と 民族・宗教	世界各地の衣食住の 特徴を理解する。 世界の言語・宗教・領 土問題について学ぶ。	衣食住 言語と国家	期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	○現代世界の地域区分	自然・文化・経済・政	中国	授業中の関心・意
			治などから、各国・各	韓国	欲・態度
			地域を多面的・多角的	東南アジア	
			に理解する。	インド	
				西アジア	
				アフリカ	
	10			EU	
				ドイツとポーランド	
=				ロシア	
一学				アメリカ ブラジル	
期				ノフシル オーストラリア	
741	11				
	11				
	12				ノート提出
					期末試験
	1	○現代世界と日本	地球規模の視野で客	 世界の中の日本	授業中の関心・意
	_		観的に日本を捉える		欲・態度
			力を身につける。	VV/// VV	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
			-		
					期末試験
l <u>=</u>					
一学	2				
三学期					
741					
	<u></u>				
	3				

その他	(履修_	上の留意点・	大学進学等のため	りの学習など)

・大学入試共通テストの受験等については個別に対応する。